

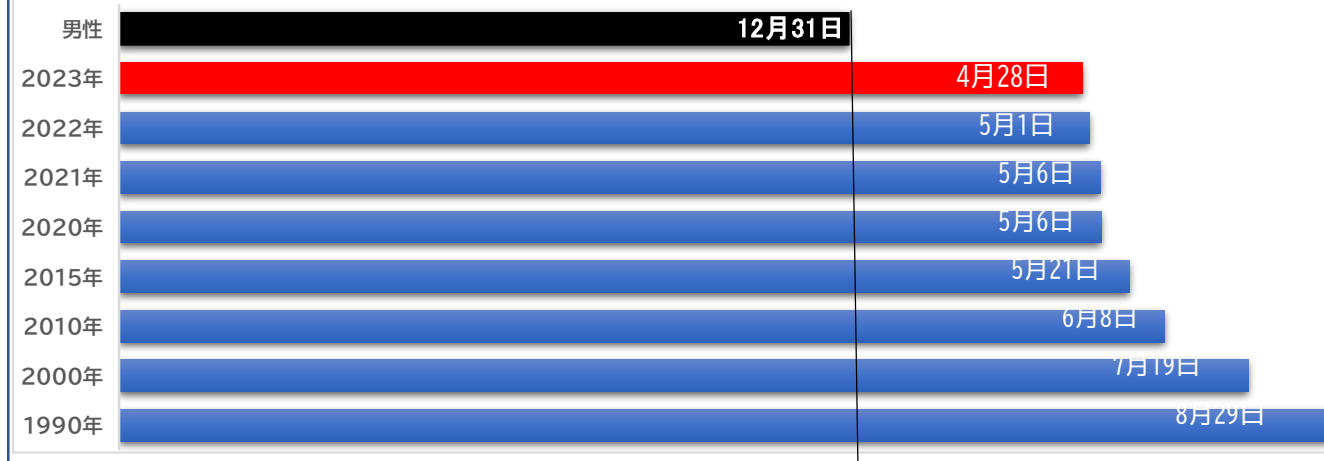
2023年 イコール・ペイ・デイ (EPD)

4月28日

男性が1年間で得る賃金を、女性は1年を超えて働いてようやく同額となる日が
イコール・ペイ・デイ (=同じ賃金を手にする日) です

2022年の一般労働者の賃金は男性342.0千円 女性258.9千円 男女計311.8千円で
2023年のイコール・ペイ・デイ (EPD) は、4月28日と昨年より3日短縮しました

EPD推移



性別賃金の推移 (令和3年(2021)賃金構造基本統計調査(全国)結果の概況より)とイコール・ペイ・デイ

EPD *黄色のマーカーは閏年	調査年 (前年)	男女計	男性	女性	賃金格差 (%) 女性賃金/男性賃金	格差分の日数C (男性の年収 /女性の日収 -365日)
		賃金 (千円)	賃金A (千円)	賃金B (千円)		
男性 12月31日						0
2023年 4月28日	2022年	311.8	342.0	258.9	75.70	117.16日
2022年 5月1日	2021年	307.4	337.2	253.6	75.20	120.32日
2021年 5月6日	2020年	307.7	338.8	251.9	74.35	125.92日
2020年 5月6日 *	2019年	307.7	338.0	251.0	74.26	126.51日
2015年 5月21日	2014年	299.6	329.6	238.0	72.21	140.48日
2010年 6月8日	2009年	294.5	326.8	228.0	69.77	158.17日
2000年 7月19日 *	1999年	300.6	336.7	217.5	64.60	200.04日
1990年 8月29日	1989年	241.8	276.1	166.3	60.23	240.99日

厚生労働省「賃金構造基本統計調査」の「所定内給与額の推移」から、一般労働者（常用労働者のうち短時間労働者を除いたもの）のデータを使用。

【Newイコール・ペイ・デイ算出方法】

1) 格差分の日数を算出

男性の年収を得るのに女性の賃金では1年を超えて何日かかるか計算

男性の年収(賃金A×12カ月)÷女性の日収(賃金B×12/365)-365日=1年を超えた格差分の日数C

2) 暦日付を算出

格差分の日数から暦日を算出、小数点以下は切上 (* 閏年は2月を29日計算)

格差分の日数C-1月(31日)-2月(28日*)-3月(31日)-4月(30日)...



後日、詳細データ(学歴・年齢別等)の結果をホームページに掲載します

資料: 令和4年賃金構造基本統計調査(全国)結果の概況

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/chingin/kouzou/z2022/index.html>